

**Pioneer** *sound.vision.soul*

DJミキサー

**DJM-707**

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。

なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

## 安全に正しくお使いいただくために

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例



△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は、禁止(やってはいけないこと)を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



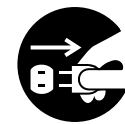
●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

## 安全上のご注意

### 警告

#### 〔異常時の処置〕

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け



● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

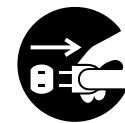


プラグを抜け

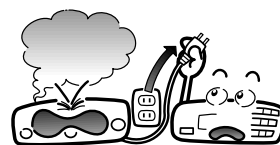


### 注意

● 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。



プラグを抜け



● 機器本体の電源スイッチを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



プラグを抜け



# 特 長

## 1) 高音質設計

細部に渡るパーツ吟味や、内部構造を見直し、信号の伝送経路を短くすることで、パワーのあるクラブサウンドを実現しました。

## 2) 操作性の向上とともに、ユーザーがカスタマイズできるクロスフェーダー機能

### ① クロスフェーダー・フィーリング・アジャスト

DJにとって重要なクロスフェーダーの操作感(重さ)を調整できる業界初の「クロスフェーダー・フィーリング・アジャスト」により、DJ各自が最も使いやすい感触でクロスフェーダーを操作することができます。

### ② クロスフェーダー・カットラグ

クロスフェーダー両端の遊び(操作しても機能せず音の出ない範囲)を設定できる「クロスフェーダー・カットラグ」により、スクラッチの際の音の切れも調整可能です。

### ③ クロスフェーダー・カーブの独立調整

対称形が一般的な従来のクロスフェーダー・カーブに対し、業界初の左右独立調整(33段階)を可能にしたので、さらに多彩なDJパフォーマンスが可能です。

### ④ 非接触クロスフェーダー

激しいDJパフォーマンス操作で酷使されるクロスフェーダーに、当社独自開発の非接触光学方式を採用し、耐久性・安定性が格段に向上しました。

## 3) その他

- ① コントロールケーブルでの接続により、フェーダー操作に連動して当社DJ用CDプレーヤーがスタートする「フェーダー・スタート・プレイ」が可能。
- ② フェーダーの操作方向を逆にすることができる「フェーダー・リバース」。
- ③ 33段階の細かなチャンネル・フェーダー・カーブの調整が可能。
- ④ 他のミキサーとシリーズに接続し、ミックスした音声が出力できる「セッション」機能。

# 付属品の確認

- 6角ドライバー(クロスフェーダー負荷調整用)
- 取扱説明書(本書)
- 安全上のご注意
- ご相談窓口・修理窓口のご案内
- 保証書

# 設置について

- ストーブなどの発熱体のそばや、直射日光の当たる所には設置しないでください。
- アンプなど、熱を発生する機器の上に設置しないでください。
- キャリングケースやDJブースに収納して使用する場合は、放熱を良くするために他の機器や壁などから離してください。

# 目 次

安全上のご注意 .....	2
特 長 .....	3
付属品の確認 .....	3
設置について .....	3
製品のお手入れについて .....	3
接続のしかた .....	4
各部の名称と働き .....	6
上面パネル .....	6
前面パネル .....	9
後面パネル .....	10
フェーダー操作 .....	11
故障? ちょっと調べてください .....	13
仕 様 .....	14
保証とアフターサービスについて .....	14

# 製品のお手入れについて

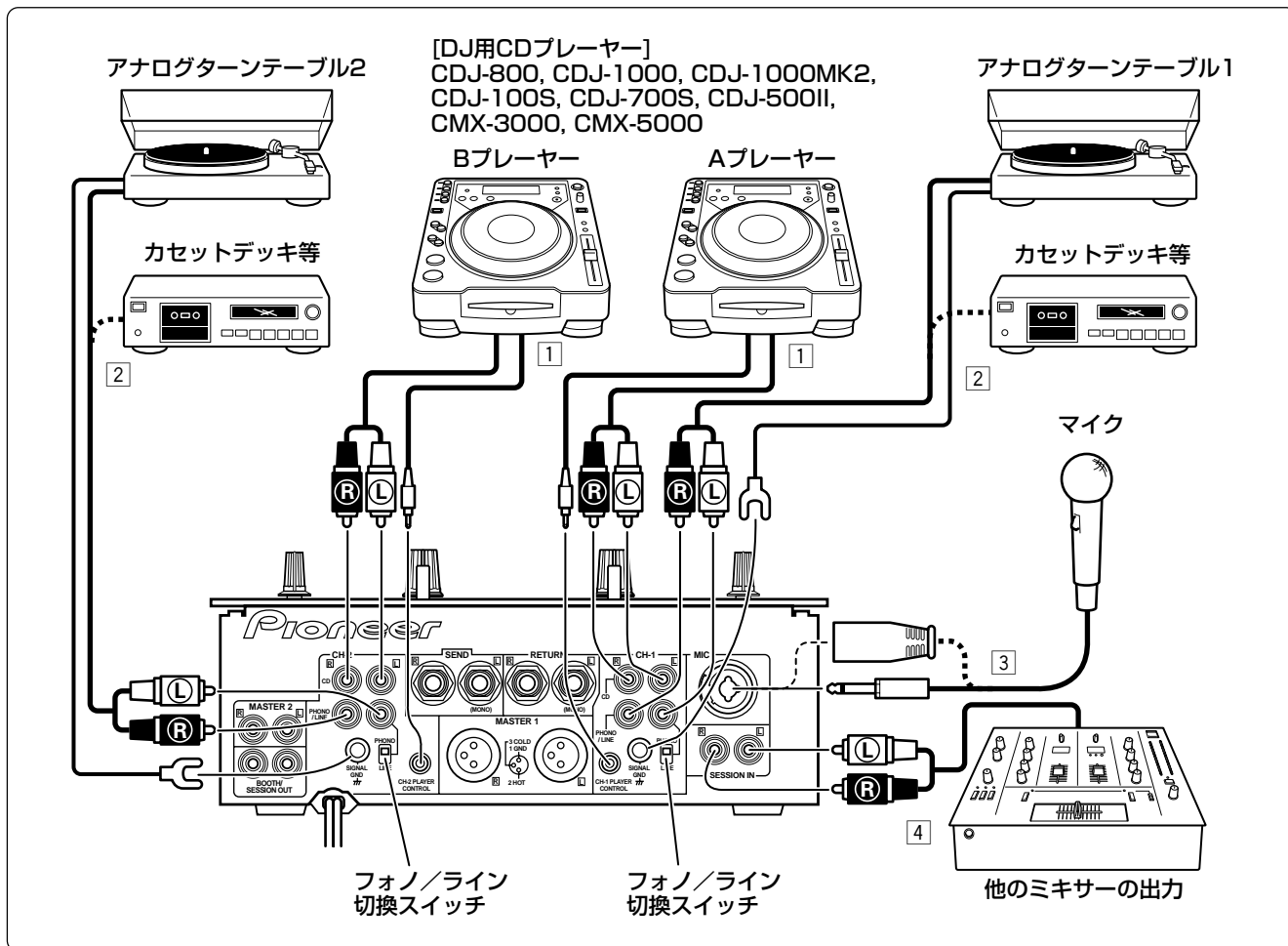


通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5~6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがあるのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

# 接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。本機には接続用のケーブルは付属していませんので、プレーヤー等に付属のオーディオケーブルまたは市販のオーディオケーブルをお求めの上、接続作業を行ってください。

## 1. 入力機器の接続



### DJ用CDプレーヤー ①

AプレーヤーのAUDIO OUT端子をCH-1 CD入力端子に接続し、BプレーヤーのAUDIO OUT端子をCH-2 CD入力端子に接続します。

リストにあるDJ用CDプレーヤーでは、プレーヤーに付属のコントロールコードを接続すると、本機のフェーダー操作でDJ用CDプレーヤーコントロールして、フェーダースタートプレイやバックキューができます。

### アナログターンテーブル/カセットデッキ等 ②

アナログターンテーブル1の出力コードをCH-1 PHONO/LINE端子に接続し、アース線をSIGNAL GND端子に接続します。フォノ/ライン切替スイッチを「PHONO」側にします。この端子にカセットデッキ等を接続する場合は、フォノ/ライン切替スイッチを「LINE」側にします。

アナログターンテーブル2の出力コードをCH-2 PHONO/LINE端子に接続し、アース線をSIGNAL GND端子に接続します。フォノ/ライン切替スイッチを「PHONO」側にします。この端子にカセットデッキ等を接続する場合は、フォノ/ライン切替スイッチを「LINE」側にします。

※ 本機のPHONO入力はMMカートリッジ用です。

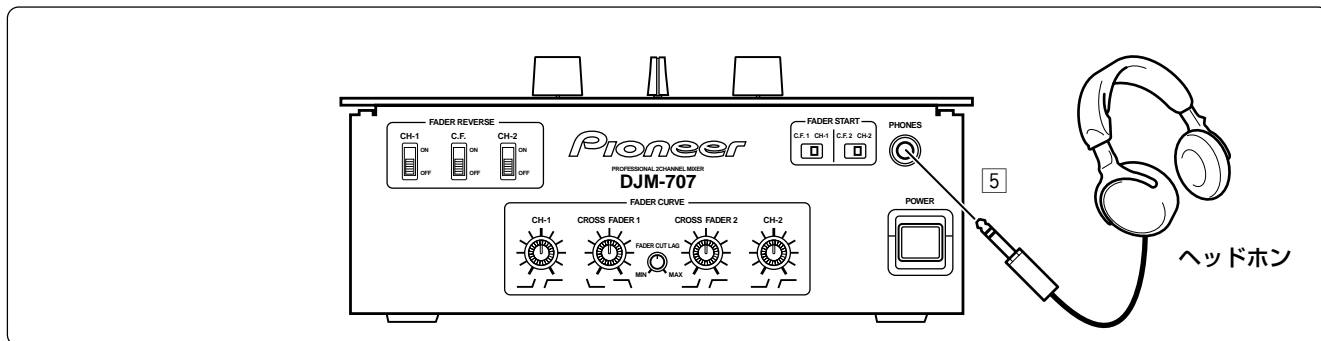
### マイク ③

本機のMIC端子はPHONEタイプとXLRタイプのどちらのプラグでも接続できます。

### セッション入力 ④

複数台のミキサーを同時に使用するとき、他のミキサーの出力端子をオーディオケーブルを使用して接続します。

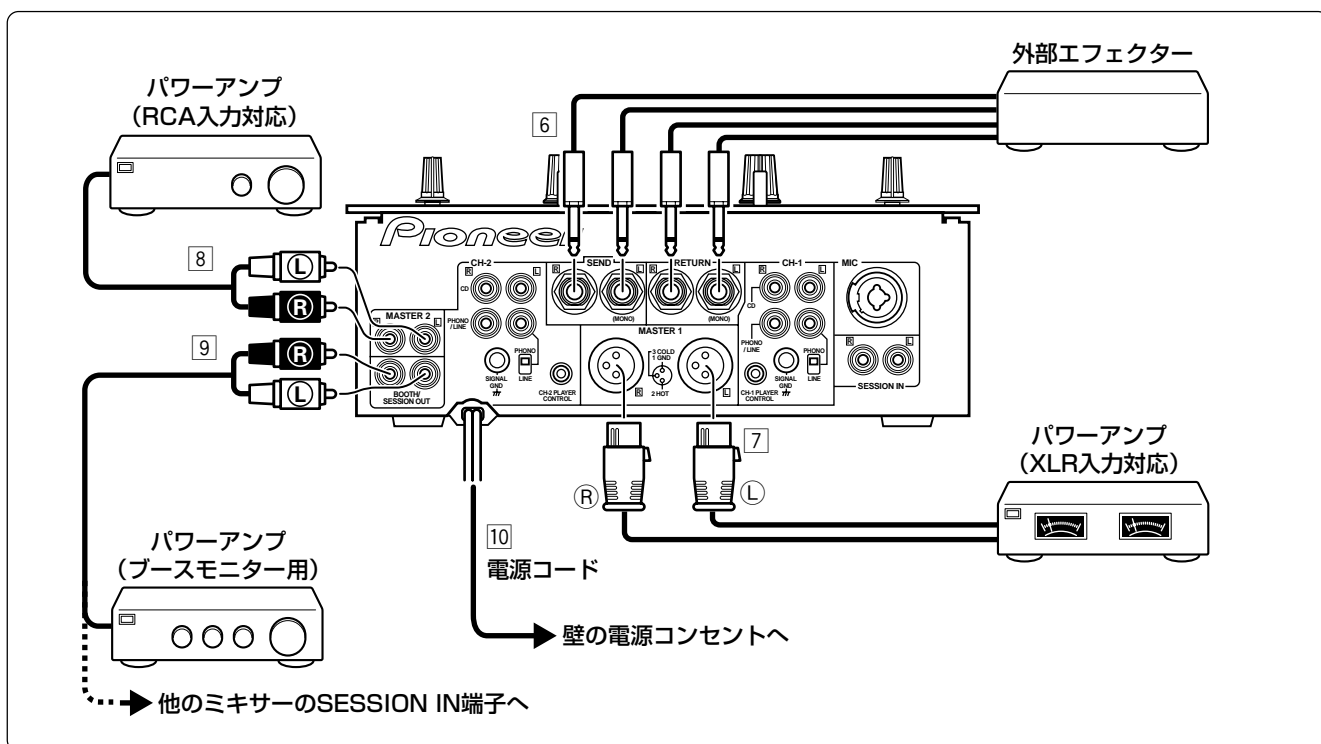
## 2. ヘッドホンの接続(前面)



### ヘッドホン ⑤

φ6.3ステレオプラグのヘッドホンを接続できます。

## 3. 出力の接続



### 外部エフェクター ⑥

φ6.3、モノラルプラグで外部エフェクターの入力端子を本機の SEND端子に接続します。

モノラル入力のエフェクターを使用するときは、Lチャンネル出力のみに接続します。エフェクターにはLRミックスされた音声が送られます。

φ6.3、モノラルプラグで外部エフェクターの出力端子を本機の RETURN端子に接続します。

モノラル出力のエフェクターを使用するときは、Lチャンネル入力のみに接続します。エフェクターからの信号はLR両方のチャンネルに入力されます。

### マスター出力

#### MASTER 1 ⑦

XLRタイプの平衡出力です。

#### MASTER 2 ⑧

RCAタイプの不平衡出力です。

#### ブース/セッション出力 ⑨

ブースモニター用出力端子です。

マスターレベルつまみと関係なく、ブースモニターレベルつまみで音量を調整できます。

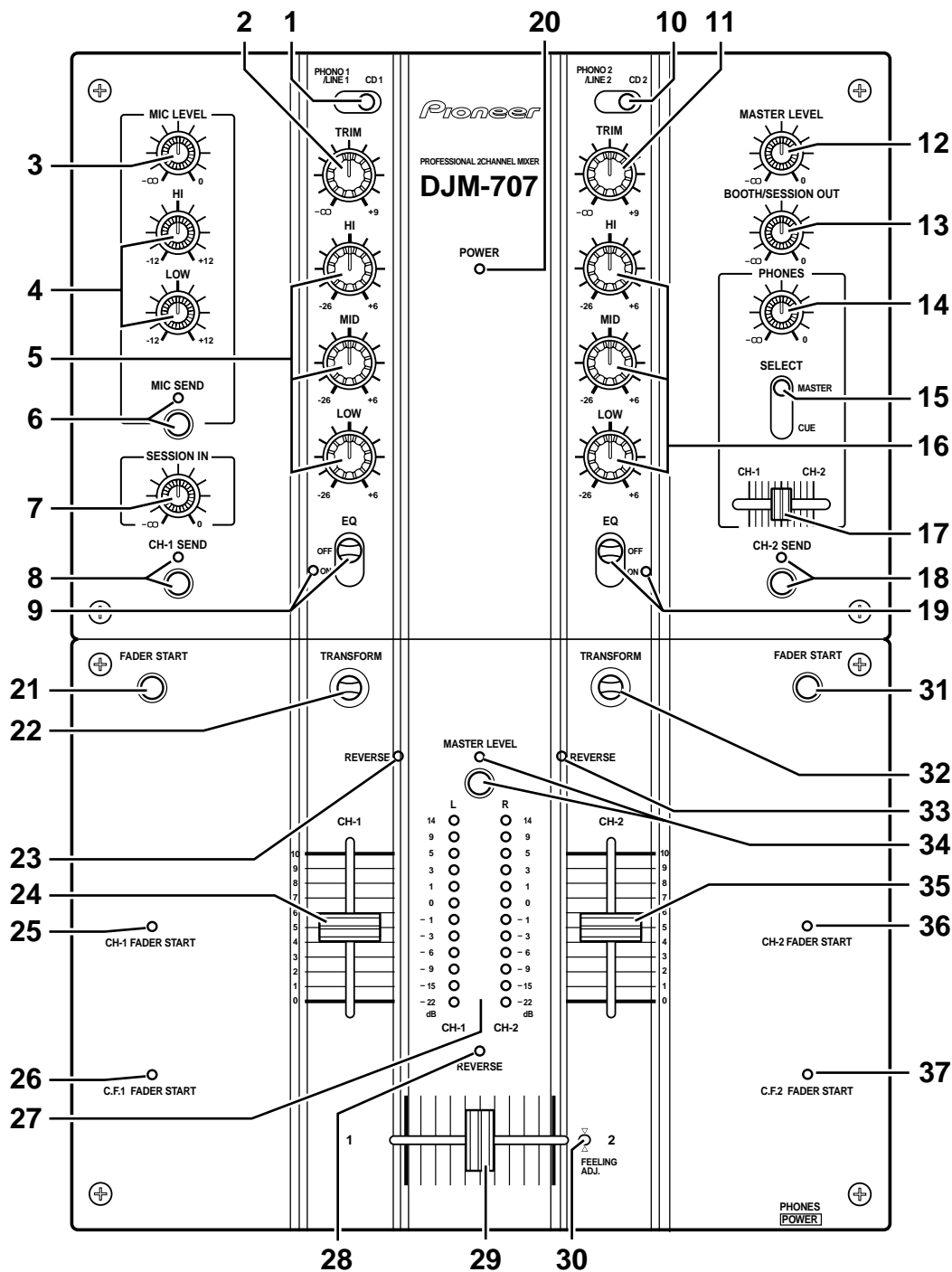
本機を他のミキサーと同時使用する場合は、この端子をそのミキサーのセッション入力端子に接続します。

#### 電源コード ⑩

全ての接続が終了したら、電源プラグを壁のコンセントまたはアンプの予備電源コンセントへ接続します。

# 各部の名称と働き

## 上面パネル



### 1 チャンネル1入力切換スイッチ (PHONO 1/LINE 1 - CD 1)

CH-1 PHONO/LINE入力端子、CH-1 CD入力端子からの入力信号を選択してTRIM部へ送ります。

### 2 チャンネル1トリムつまみ(TRIM)

入力信号レベルを調整します(調整範囲: +9dB~-∞)。

### 3 マイクレベルつまみ(MIC LEVEL)

マイクの音量を調整します(調整範囲: 0dB~-∞)。

### 4 マイクイコライザーつまみ

**HI**  
マイクの高音を調整します。(調整範囲: 10kHz、±12dB)

### 6

DJM-707

### LOW

マイクの低音を調整します。(調整範囲: 100Hz、±12dB)

### 5 チャンネル1 イコライザーつまみ

**HI**  
入力音の高音を調整します。  
(調整範囲: 13kHz、+6~-26dB)

### MID

入力音の中音を調整します。  
(調整範囲: 1kHz、+6~-26dB)

### LOW

入力音の低音を調整します。  
(調整範囲: 70Hz、+6~-26dB)

**6 マイクセンドボタン、インジケータ**(MIC SEND)  
ONにするとインジケータが点灯し、マイク音声をSEND端子に出力します。

**7 セッション入力レベルつまみ**(SESSION IN)  
セッション入力の音量を調整します(調整範囲：0dB～∞)。

**8 チャンネル1 センドボタン、インジケータ**  
(CH-1 SEND)  
ONにするとインジケータが点灯し、チャンネル1の音声をSEND端子に出力します。

**9 チャンネル1 イコライザースイッチ、インジケータ**(EQ)  
ONにするとインジケータが点灯し、チャンネル1のイコライザーが働きます。  
OFFにするとインジケータが消灯し、イコライザーがバイパスされます。

**10 チャンネル2 入力切替スイッチ**  
(PHONO 2/LINE 2-CD 2)  
CH-2 PHONO/LINE入力端子、CH-2 CD入力端子から入力を選択してTRIM部へ送ります。

**11 チャンネル2 トリムつまみ**(TRIM)  
入力信号レベルを調整します(調整範囲：+9dB～∞)。

**12 マスターレベルつまみ**(MASTER LEVEL)  
マスター出力の音量を調整します(調整範囲：0dB～∞)。

**13 ブースモニターレベルつまみ**  
(BOOTH/SESSION OUT)  
BOOTH/SESSION OUT端子の音量を調整します(調整範囲：0dB～∞)。  
マスターレベルつまみ(MASTER LEVEL)の設定とは関係なく設定できます。

**14 ヘッドホンレベルつまみ**(PHONES)  
ヘッドホン出力の音量を調整します(調整範囲：0dB～∞)。

**15 モニター選択スイッチ**(SELECT)  
**MASTER側**  
マスター出力を選択します。(マスターレベルつまみの設定とは関係なく出力可能です。)

**CUE側**  
ヘッドホンミキシングつまみ(17)で調整されたチャンネルを選択します。

**16 チャンネル2 イコライザーつまみ**  
**HI**  
入力音の高音を調整します。  
(調整範囲：13kHz、+6～-26dB)

**MID**  
入力音の中音を調整します。  
(調整範囲：1kHz、+6～-26dB)

**LOW**  
入力音の低音を調整します。  
(調整範囲：70Hz、+6～-26dB)

**17 ヘッドホンミキシングつまみ**(CH 1 - CH 2)  
モニター選択スイッチ(15)(SELECT)がMASTERのときは機能しません。  
モニター選択スイッチ(15)(SELECT)がCUEのとき、左側に寄せるとモニター出力はチャンネル1となり、右に寄せるとチャンネル2となります。センタークリックではチャンネル1と2のレベルが半々で出力されます。

**18 チャンネル2 センドボタン、インジケータ**  
(CH-2 SEND)  
ONにするとインジケータが点灯し、チャンネル2の音声をSEND端子に出力します。

**19 チャンネル2 イコライザースイッチ、インジケータ**(EQ)  
ONにするとインジケータが点灯し、チャンネル2のイコライザーが働きます。  
OFFにするとインジケータが消灯し、イコライザーがバイパスされます。

**20 電源インジケータ**(POWER)  
電源をONすると点灯します。

**21 チャンネル1 フェーダースタートボタン**  
(FADER START)  
ONするとチャンネル1に接続したCDプレーヤーのフェーダースタートおよびバックキューが行えます。  
チャンネル1フェーダーつまみでコントロールするか、クロスフェーダーつまみでコントロールするかは、前面パネルのフェーダースタート切替スイッチ(FADER START)で選択します。  
上面パネルのCH-1 FADER STARTインジケータまたはC.F.1 FADER STARTインジケータの点灯で表示します。  
※ フェーダースタート/バックキューに対応したDJ用CDプレーヤーは、4ページの「1.入力機器の接続」を参照してください。

**22 チャンネル1 出力ON/OFFレバー**  
(TRANSFORM)  
チャンネル1の出力をON/OFF(MUTE)できます。  
このレバーの倒れる方向は45度単位で変えることができます。  
※ 角度の変更はパイオニア修理受付センター(沖縄県は沖縄サービスステーション)にご依頼ください。

**23 チャンネル1 REVERSEインジケータ**  
チャンネル1のチャンネルフェーダーの操作方向が逆向きになっている場合に点灯します。(前面パネル(38)参照)

**24 チャンネル1 フェーダーつまみ**(CH 1)  
チャンネル1のチャンネルフェーダーボリュームです。  
クロスフェーダーへ送る信号レベルを調整します。目盛り「10」で最大、「0」で最小レベルになります。  
前面パネルのフェーダー操作反転スイッチのCH-1がONの時は、「0」で最大、「10」で最小レベルになります。  
※ チャンネルフェーダーカーブは前面パネルのFADER CURVEつまみにより調整できます。

**25 CH-1 FADER STARTインジケータ**  
チャンネル1のフェーダースタート/バックキュー機能が有効な場合に点灯します。(上面パネル(21)、前面パネル(39)参照)

### 26 C.F.1 FADER STARTインジケーター

クロスフェーダースタート/バックキュー機能が有効な場合に点灯します。(上面パネル(21)、前面パネル(39)参照)

### 27 レベルメーター

チャンネル1とチャンネル2のピークレベル表示またはマスター出力(ステレオ)のピークレベル表示をします。(関連(34))

### 28 クロスフェーダーREVERSEインジケーター

クロスフェーダーの操作方向が逆向き(左側がチャンネル2、右側がチャンネル1になる)になっていることを示します。(前面パネル(38)参照)

### 29 クロスフェーダーつまみ

左側に寄せるとチャンネル1が最大でチャンネル2が最小となり、右側に寄せるとチャンネル2が最大でチャンネル1が最小となります。

※ クロスフェーダーカーブは、前面パネルのFADER CURVEつまみにより、チャンネル1と2を独立して調整できます。

### 30 操作負荷調整ねじ(FEELING ADJ.)

パネルのFEELING ADJ.部の穴に設けられている六角穴付ねじを付属の六角ドライバーで回すことにより、クロスフェーダーつまみをスライドするときの操作フィーリングを調整できます(11ページ「クロスフェーダーの操作負荷の調整」参照)。

### 31 チャンネル2フェーダースタートボタン (FADER START)

ONするとチャンネル2に接続したCDプレーヤーのフェーダースタートおよびバックキューが行えます。

チャンネル2フェーダーつまみでコントロールするか、クロスフェーダーつまみでコントロールするかは、前面パネルのフェーダースタート切換スイッチ(FADER START)で選択します。

上面パネルのCH-2 FADER STARTインジケーターまたはC.F.2 FADER STARTインジケーターの点灯で表示します。

※ フェーダースタート/バックキューに対応したDJ用CDプレーヤーは、4ページの「1.入力機器の接続」を参照してください。

### 32 チャンネル2 出力ON/OFFレバー (TRANSFORM)

チャンネル2の出力をON/OFF(MUTE)できます。

このレバーの倒れる方向は45度単位で変えることができます。

※ 角度の変更はパイオニア修理受付センター(沖縄県は沖縄サービスステーション)にご依頼ください。

### 33 チャンネル2 REVERSEインジケーター

チャンネル2のチャンネルフェーダーの操作方向が逆向きになっている場合に点灯します。(前面パネル(38)参照)

### 34 マスターレベル表示ボタン、インジケーター (MASTER LEVEL)

ONにするとインジケーターが点灯し、レベルメーターがマスター出力(ステレオ)のピークレベル表示をします。

OFF時はレベルメーターがチャンネル1(左側)、チャンネル2(右側)のピークレベルを表示します。(関連(27))

### 35 チャンネル2 フェーダーつまみ(CH-2)

チャンネル2のチャンネルフェーダーボリュームです。

クロスフェーダーへ送る信号レベルを調整します。目盛り「10」で最大、「0」で最小レベルになります。

前面パネルのフェーダー操作反転スイッチのCH-2がONの時は、「0」で最大、「10」で最小レベルになります。

※ チャンネルフェーダーカーブは前面パネルのFADER CURVEつまみにより調整できます。

### 36 CH-2 FADER STARTインジケーター

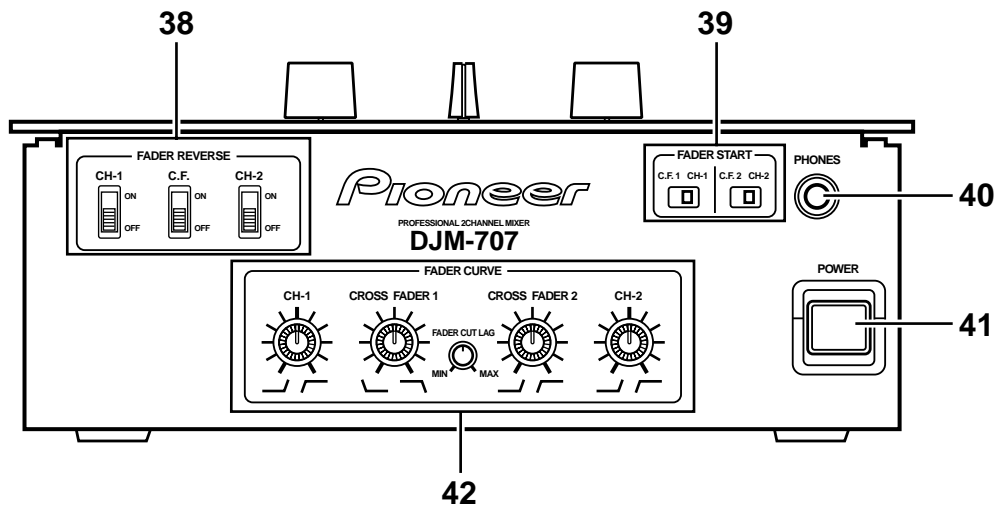
チャンネル2のフェーダースタート/バックキュー機能が有効な場合に点灯します。(上面パネル(31)、前面パネル(39)参照)

### 37 C.F.2 FADER STARTインジケーター

クロスフェーダースタート/バックキュー機能が有効な場合に点灯します。(上面パネル(31)、前面パネル(39)参照)



## 前面パネル



### 38 フェーダー操作反転スイッチ (FADER REVERSE)

#### CH-1 ON/OFF

ONにすると上面部チャンネル1のREVERSEインジケータが点灯し、チャンネル1のフェーダーつまみの操作方向が逆になります(目盛り「0」が減衰量0dB、「10」がマイナス無限大になる)。また、フェーダースタート機能も逆向きになります。

#### CH-2 ON/OFF

ONにすると上面部のチャンネル2のREVERSEインジケータが点灯し、チャンネル2のフェーダーつまみの操作方向が逆になります(目盛り「0」が減衰量0dB、「10」がマイナス無限大になる)。また、フェーダースタート機能も逆向きになります。

#### C.F. ON/OFF

ONにすると上面部クロスフェーダーのREVERSEインジケータが点灯し、クロスフェーダーつまみの操作方向が逆になります(左側がチャンネル2、右側がチャンネル1になる)。また、フェーダースタート機能も逆向きになります。

### 39 フェーダースタート切換スイッチ (FADER START)

#### C.F. 1/CH 1

CH-1に接続したCDプレーヤーのフェーダースタートを、クロスフェーダーつまみの操作で行うか、チャンネル1のフェーダーつまみの操作で行うかを選択します。

上面部のチャンネル1 FADER STARTボタンをONにすると、C.F. 1選択時は上面部のC.F.1 FADER STARTインジケータが点灯し、CH-1選択時は上面部のCH-1 FADER STARTインジケータが点灯します。

#### C.F. 2/CH 2

CH-2に接続したCDプレーヤーのフェーダースタートを、クロスフェーダーつまみの操作で行うか、チャンネル2のフェーダーつまみの操作で行うかを選択します。

上面部のチャンネル2 FADER STARTボタンをONにすると、C.F. 2選択時は上面部のC.F.2 FADER STARTインジケータが点灯し、CH-2選択時は上面部のCH-2 FADER STARTインジケータが点灯します。

### 40 ヘッドホン出力ジャック (PHONES)

φ6.3のステレオホンジャックです。

### 41 電源スイッチ (POWER)

### 42 フェーダー減衰カーブつまみ (FADER CURVE)

#### CH-1

チャンネル1のフェーダーの減衰カーブを調節します。

#### CH-2

チャンネル2のフェーダーの減衰カーブを調節します。

#### CROSS FADER 1

クロスフェーダーのチャンネル1側の減衰カーブを調節します。

#### CROSS FADER 2

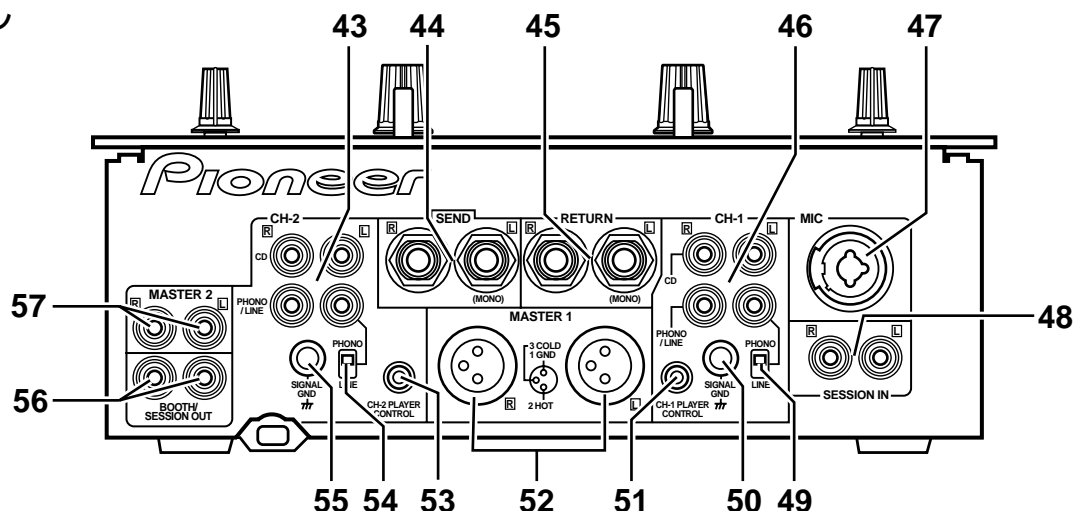
クロスフェーダーのチャンネル2側の減衰カーブを調節します。

#### FADER CUT LAG

クロスフェーダーの両端の機械的遊び(操作しても機能しない範囲)を調節します。

(11ページ「フェーダー減衰カーブの調整」参照)

後面パネル



43 チャンネル2入力端子(CH-2)

CD  
チャンネル2用のCDプレーヤーのオーディオ出力を接続します。

PHONO/LINE

チャンネル2用のアナログターンテーブルまたはカセットデッキ等のライン信号レベルの機器のオーディオ出力を接続します。

44 外部エフェクター送り出し端子(SEND)

外部エフェクターの入力端子に接続します。この端子には上面パネルのMIC SENDスイッチ、CH-1 SENDスイッチ、CH-2 SENDスイッチをONしたときに、それぞれの信号(MIC、CH-1、CH-2)が出力され、外部エフェクターを通ることになります。

モノラル入力のエフェクターを使用するときは、Lチャンネル出力のみに接続します。エフェクターにはLRミックスされた音声が送られます。

45 外部エフェクター戻り端子(RETURN)

外部エフェクターの出力端子に接続します。モノラル出力のエフェクターを使用するときは、Lチャンネル入力にのみ接続します。エフェクターからの信号はLR両方のチャンネルに入力されます。

46 チャンネル1入力端子(CH-1)

CD  
チャンネル1用のCDプレーヤーのオーディオ出力を接続します。

PHONO/LINE

チャンネル1用のアナログターンテーブルまたはカセットデッキ等のライン信号レベルの機器のオーディオ出力を接続します。

47 マイク入力ジャック(MIC)

XLRタイプまたはPHONEタイプの端子を持つマイクを接続します。

48 セッション入力端子(SESSION IN)

複数台のミキサーを同時に使用するとき、他のミキサーの出力端子を接続します。

49 フォノ/ライン切換スイッチ(PHONO/LINE)

CH-1 PHONO/LINE端子の入力感度を切り換えます。PHONOはMMタイプカートリッジ用です。

※ アナログターンテーブルを使用しないときは、スイッチをLINE側にしてご使用ください。

50 チャンネル1 信号用アース端子(SIGNAL GND)

チャンネル1のアナログターンテーブルのアースコードを接続します。安全アース端子ではありません。

51 チャンネル1 CDプレーヤーコントロール端子(CH-1 PLAYER CONTROL)

CH-1 CD端子に弊社のDJ用CDプレーヤーを接続して使用するとき、CDプレーヤーのコントロール端子とコントロールコードで接続すると、フェーダースタート機能が使用できます。

52 マスター出力1端子(MASTER 1)

XLRタイプの平衡出力端子です。パワーアンプの平衡入力端子と接続します。

53 チャンネル2 CDプレーヤーコントロール端子(CH-2 PLAYER CONTROL)

CH-2 CD端子に弊社のDJ用CDプレーヤーを接続して使用するとき、CDプレーヤーのコントロール端子とコントロールコードで接続すると、フェーダースタート機能が使用できます。

54 フォノ/ライン切換スイッチ(PHONO/LINE)

CH-2 PHONO/LINE端子の入力感度を切り換えます。PHONOはMMタイプカートリッジ用です。

※ アナログターンテーブルを使用しないときは、スイッチをLINE側にしてご使用ください。

55 チャンネル2 信号用アース端子(SIGNAL GND)

チャンネル2のアナログターンテーブルのアースコードを接続します。安全アース端子ではありません。

56 ブース/セッション出力端子(BOOTH/SESSION OUT)

ブースモニター用出力端子です。本機を他のミキサーに付加して使用する場合は、他のミキサーのセッション入力端子に接続します。

57 マスター出力2端子(MASTER 2)

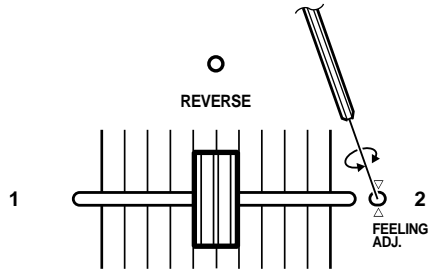
RCAタイプの不平衡出力端子です。パワーアンプの不平衡入力端子と接続します。

# フェーダー操作

## フェーダー操作フィーリングの設定

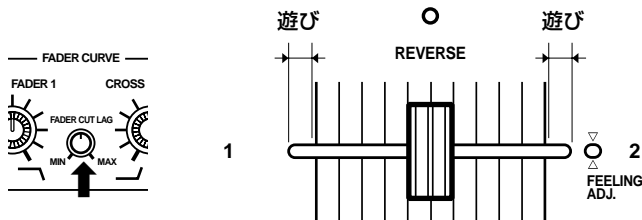
### クロスフェーダーの操作負荷の調整

上面部のクロスフェーダーのスリットの、右端に設けられている六角穴つきネジを付属の六角ドライバーで回すことにより、クロスフェーダーつまみをスライドするときの、動きの重さを調整できます。時計方向に回すと動きが重くなり、反時計方向に回すと軽くなります。



### クロスフェーダーの遊びの調整

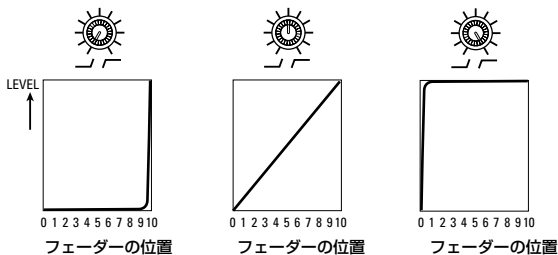
上面部のクロスフェーダーの両端の機械的遊び(操作しても機能しない範囲)を、前面部のFADER CUT LAGつまみで1~6mmの範囲で調整できます。



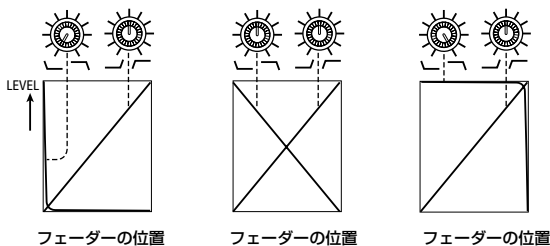
### フェーダー減衰カーブの調整

前面部のFADER CURVEつまみにより、クロスフェーダーとチャンネルフェーダーの減衰カーブ特性を調整できます。クロスフェーダーはチャンネル1側とチャンネル2側を別々に調整できます。

#### ■ CH-1、CH-2のフェーダーカーブ調整



#### ■ クロスフェーダーカーブ調整

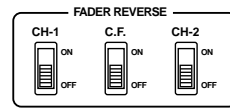


## フェーダーリバース機能

前面部のFADER REVERSEスイッチをONすることにより、チャンネル1フェーダー、チャンネル2フェーダー、クロスフェーダーの個々の操作方向を逆向きにすることができます。

CH-1(CH-2)のFADER REVERSEスイッチをONにすると、上面部のチャンネル1(チャンネル2)のREVERSEインジケーターが点灯し、つまみの操作方向が逆になります(目盛り「0」が減衰量0dB、目盛り「10」がマイナス無限大になる)。また、フェーダースタート機能も逆向きになります。

C.F.のFADER REVERSEスイッチをONにすると、上面部のクロスフェーダーのREVERSEインジケーターが点灯し、つまみの操作方向が逆になります(左側がチャンネル2、右側がチャンネル1になる)。また、フェーダースタート機能も逆向きになります。



## フェーダースタート機能

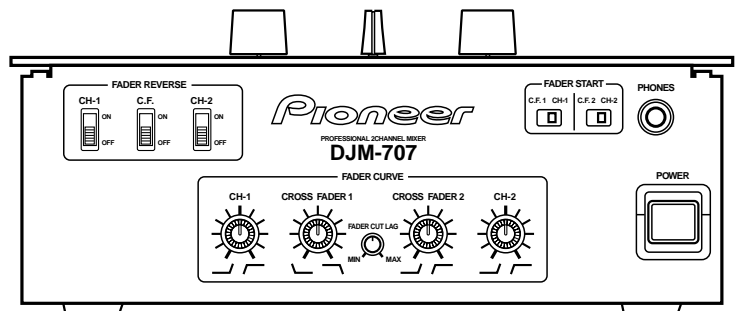
別売のDJ用CDプレーヤーCDJ-1000、CDJ-1000MK2、CDJ-800、CDJ-100S、CDJ-700S、CDJ-500II、CMX-3000、CMX-5000をCH-1~CH-2に接続すると、チャンネルフェーダーやクロスフェーダーでCDプレーヤーの演奏をスタートすることができます(コントロールコードでの接続が必要です)。ミキサーのチャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーつまみを動かすと、CDプレーヤーのポーズが解除し、自動的かつ瞬時に曲がスタートします。また、フェーダーの位置を元に戻すと、CDプレーヤーをキューポイントまで戻すこと(バックキュー)できるのでサンプラーのようなプレイもできます。

## クロスフェーダースタートプレイ&バックキュープレイ

チャンネル1のCDプレーヤーがキューポイントでスタンバイ時に、クロスフェーダーつまみを右端(2側)から左(1側)へ動かすだけでチャンネル1のCDプレーヤーがスタートします。

クロスフェーダーつまみが左端(1側)に到達するとチャンネル2のCDプレーヤーがバックキューします(キューポイントに戻ります)。また、チャンネル2のCDプレーヤーがキューポイントでスタンバイ時に、クロスフェーダーつまみを左端(1側)から右(2側)へ動かすだけでチャンネル2のCDプレーヤーがスタートします。

クロスフェーダーつまみが右端(2側)に到達するとチャンネル1のCDプレーヤーがバックキューします。

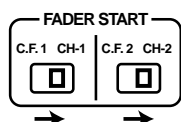


## フェーダー操作

### チャンネルフェーダーでスタートする

- ① 制御したいCDプレーヤーを接続したチャンネル(CH-1～CH-2)のFADER STARTスイッチをCH-1またはCH-2にする。

チャンネル1のCDプレーヤーをチャンネル1のフェーダーでスタートするときは前面部のC.F.1/CH-1スイッチをCH-1にし、チャンネル2のCDプレーヤーをチャンネル2のフェーダーでスタートするときは前面部のC.F.2/CH-2スイッチをCH-2にします。

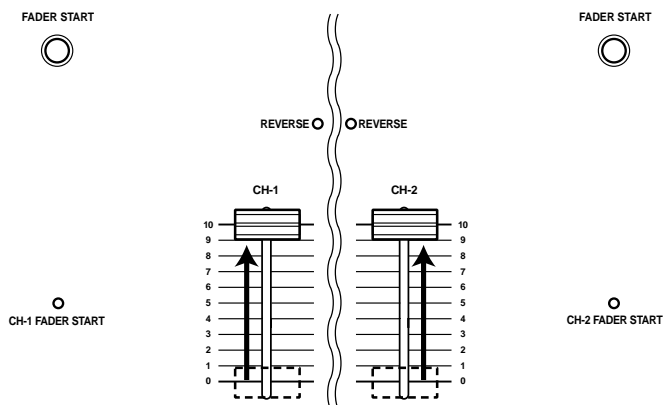


- ② 上面部のFADER STARTボタンを押して、インジケータを点灯する。

チャンネル1のFADER STARTボタンを押すと、CH-1 FADER STARTインジケータが点灯します。

チャンネル2のFADER STARTボタンを押すと、CH-2 FADER STARTインジケータが点灯します。

- ② チャンネルフェーダーつまみを「0」位置にする。
- ③ CDプレーヤーでキューポイントを設定し、キューポイントでスタンバイさせる。
- ④ スタートしたいタイミングで、チャンネルフェーダーつまみを動かせば、CDプレーヤーが再生を始めます。

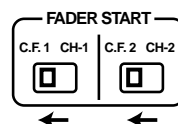


- あらかじめキューポイントが設定されていれば、キューポイントの位置でCDプレーヤーをスタンバイしておく必要はありません。
- 再生開始後にチャンネルフェーダーつまみを「0」位置に戻すと、CDプレーヤーはキューポイントに戻り、スタンバイします(バックキュー)。

### クロスフェーダーでスタートする

- ① 制御したいCDプレーヤーを接続したチャンネル(CH-1～CH-2)のFADER STARTスイッチをC.F.1またはC.F.2にする。

チャンネル1のCDプレーヤーをクロスフェーダーでスタートするときは前面部のC.F.1/CH-1スイッチをC.F.1にし、チャンネル2のCDプレーヤーをクロスフェーダーでスタートするときは前面部のC.F.2/CH-2スイッチをC.F.2にします。

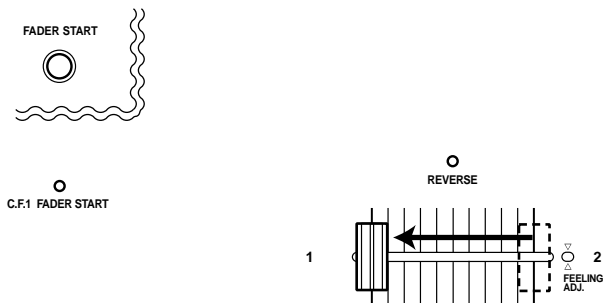


- ② 上面部のFADER STARTボタンを押して、インジケータを点灯する。

チャンネル1のFADER STARTボタンを押すと、C.F.1 FADER STARTインジケータが点灯します。

チャンネル2のFADER STARTボタンを押すと、C.F.2 FADER STARTインジケータが点灯します。

- ② クロスフェーダーつまみをスタートさせたいチャンネルとは逆の方向いっぱい移動する。
- ③ CDプレーヤーでキューポイントを設定し、キューポイントでスタンバイさせる。
- ④ スタートしたいタイミングで、クロスフェーダーつまみを動かせば、CDプレーヤーが再生を始めます。



- あらかじめキューポイントが設定されていれば、キューポイントの位置でCDプレーヤーをスタンバイしておく必要はありません。
- 再生開始後にクロスフェーダーつまみをいっぱい移動すると、反対側のチャンネルのCDプレーヤーはキューポイントに戻り、スタンバイします(バックキュー)。

# 故障？ちょっと調べてください

故障かな？…と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障とされています。また、本機以外の原因も考えられます。同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。

下の項目をチェックしても直らない場合は、お買上げの販売店またはパイオニア修理受付センター(裏表紙参照)へご連絡ください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードが繋がっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コンセントへつなく。</li> </ul>
音が出ない、または小さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入力切換スイッチの位置が違っている。</li> <li>● 入力端子をフォノで使用しているのに、後面パネルのフォノ/ライン切換スイッチがLINEになっている。</li> <li>● 接続コードが正しく接続されていない。または、はずれている。</li> <li>● 端子やプラグが汚れている。</li> <li>● TRANSFORMレバーが倒れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入力切換スイッチで再生中の機器を選ぶ。</li> <li>● フォノ/ライン切換スイッチをPHONOにする。</li> <li>● 正しく接続する。</li> <li>● 汚れをふき取って接続する。</li> <li>● TRANSFORMレバーを直立に戻す。</li> </ul>
音が歪む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マスター出力レベルが高すぎる。</li> <li>● 入力レベルが高すぎる。</li> <li>● 入力端子をラインで使用しているのに、後面パネルのフォノ/ライン切換スイッチがPHONOになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マスターレベルつまみ(MASTER)を調整する。</li> <li>● TRIMつまみを調整して、入力レベルがピークレベルメーターの0dB付近になるようにする。</li> <li>● フォノ/ライン切換スイッチをLINEにする。</li> </ul>
CDプレーヤーのフェーダースタートができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上面のフェーダースタートボタンがOFFになっている。</li> <li>● 後面のプレーヤーコントロール端子を接続していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上面のフェーダースタートボタンをONにする。</li> <li>● コントロールコードで本機とCDプレーヤーのコントロール端子を接続する。</li> </ul>
外部エフェクターが効かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上面のSENDボタン(MIC SEND、CH-1 SEND、CH-2 SEND)がOFFになっている。</li> <li>● RETURNジャックに外部エフェクターの出力プラグが接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部エフェクトをかけたいチャンネルのSENDボタンをONにする(インジケーター点灯)。</li> <li>● 外部エフェクターの出力プラグをRETURNジャックに接続する。</li> </ul>
外部エフェクターの音が歪む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部エフェクターからの入力レベルが高すぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部エフェクターの出力レベルを下げる。</li> </ul>

静電気、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は、再度電源スイッチを入れ直すことにより正常に動作します。

# 仕 様

## オーディオ部

### 入力端子 (入力レベル/インピーダンス)

CD 1、2	-14dBV (200mV)/22kΩ
LINE 1、2	-14dBV (200mV)/22kΩ
PHONO 1、2	-54dBV (2mV)/47kΩ
MIC	-54dBV (2mV)/3kΩ
SESSION IN	-14dBV (200mV)/22kΩ
RETURN	-14dBV (200mV)/22kΩ

### 出力端子 (出力レベル/インピーダンス)

MASTER OUT1 (XLR)	0dBV (1V)/600Ω
MASTER OUT2 (RCA)	0dBV (1V)/1kΩ
BOOTH/SESSION OUT	0dBV (1V)/1kΩ
SEND	-14dBV (200mV)/1kΩ
PHONES	6dBV (2V)/22Ω以下 (定格負荷インピーダンス32Ω)

### 周波数特性

LINE/MIC	20Hz~20kHz
PHONO (RIAA)	20Hz~20kHz

### SN比

LINE	93dB以上
PHONO	78dB以上
MIC	64dB以上

### 全高調波歪率

CD、LINE	0.02%以下
クロストーク (1kHz)	77dB以上

### チャンネルイコライザー(LINE/PHONO)

HI	+6dB ~ -26dB
MID	+6dB ~ -26dB
LOW	+6dB ~ -26dB

### マイクイコライザー (MIC)

HI	+12dB ~ -12dB
LOW	+12dB ~ -12dB

## 電源部・その他

電源電圧	AC 100V, 50/60Hz
消費電力	21W
動作温度	+5°C~+35°C
動作湿度	5%~85%
外形寸法	251 (幅) x 381.6 (奥行) x 107.9 (高さ) mm
質量	6.3kg

## 付属品

● 六角ドライバー	1
● 取扱説明書(本書)	1
● 安全上のご注意	1
● ご相談窓口・修理窓口のご案内	1
● 保証書	1

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービスについて

## 保証書(別に添付してあります。)について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

## 保証期間と保証内容について

- **保証期間について**  
保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。
- **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**  
本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。
- **故障、故障の修理その他にもなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

## 補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打切後8年間保有しています。

## 修理を依頼されるとき

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

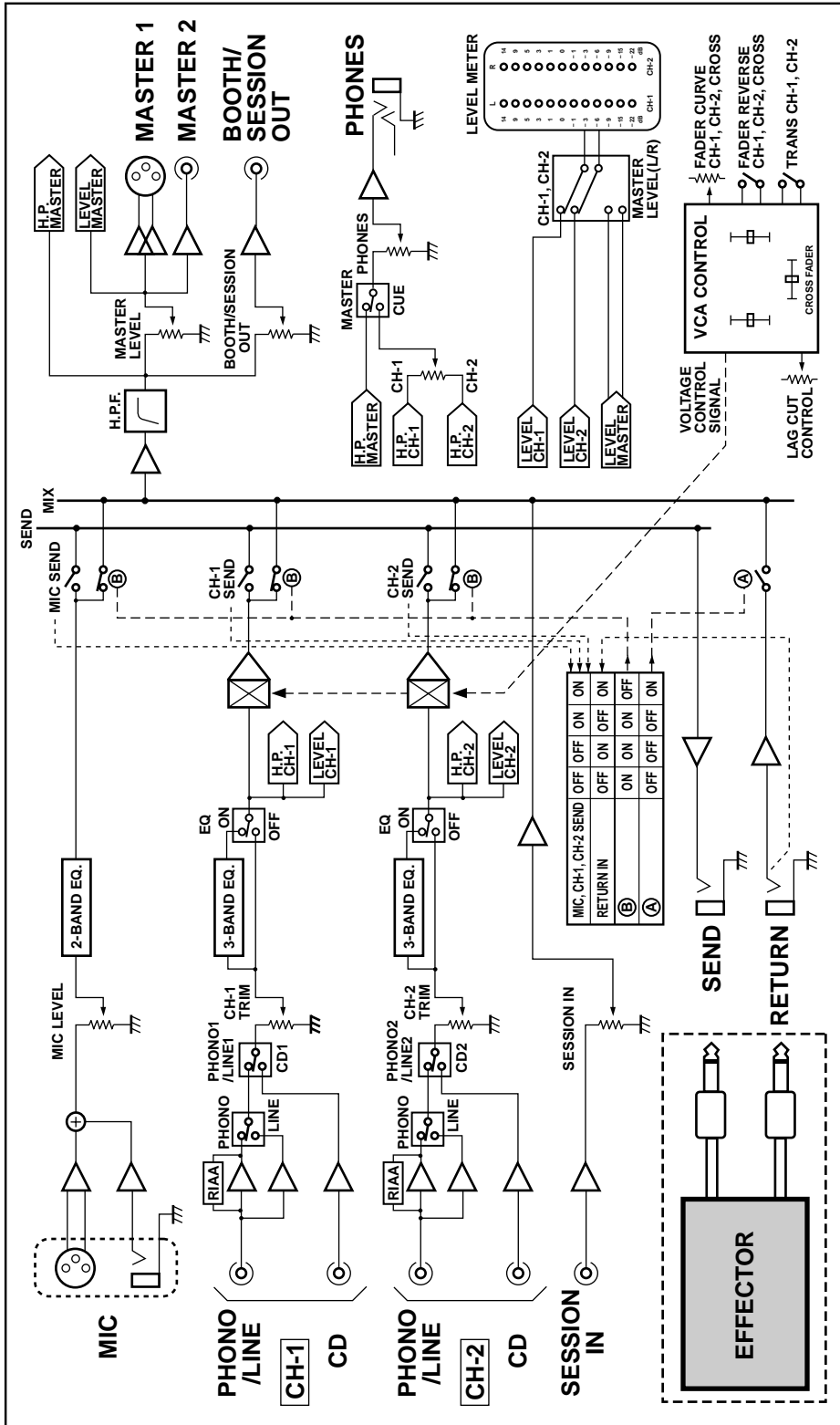
- **保証期間中は**  
万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お求めの販売店またはパイオニア修理受付センター(裏表紙参照)にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理致します。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・型番・ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

- **保証期間が過ぎているときは**  
お求めの販売店またはパイオニア修理受付センターにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。


# ブロックダイヤグラム



## 製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

### ● パイオニア・カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口： **0070-800-8181-22**

一般電話：**03-5496-2986**

カタログのご請求窓口： **0070-800-8181-33**

ファックス：**03-3490-5718**

<ご注意>

フリーフォンは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/>

カタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

## 部品のご購入についてのご相談窓口


付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

### ● パイオニア部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休日は除く）

電話（フリーダイヤル）： **0120-5-81095**

一般電話：**0538-43-1161**

ファックス（フリーダイヤル）： **0120-5-81096**

<ご注意>

フリーダイヤルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

## 修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。


ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

### ● パイオニア修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休日は除く）

電話（フリーダイヤル）： **0120-5-81028**

一般電話：**03-5496-2023**

ファックス（フリーダイヤル）： **0120-5-81029**

<ご注意>

フリーダイヤルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

### ● 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話：**098-879-1910**

ファックス：**098-879-1352**

### 愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社修理受付センターに点検（有料）をご依頼ください。

©2003 パイオニア株式会社 禁無断転載